



CONTENTS

特集1

14 電力不足の真相

供給責任不在がもたらす国難

OUTLINE

- 16 システム改革で責任主体不在の死角 供給力減少が誘発する停電危機
- 20 **供給信頼度の評価と対策 日米欧の電力需給状況を検証** 小笠原潤ー 日本エネルギー経済研究所 研究理事 DISCUSSION
- 22 脱炭素偏重のエネルギー政策を斬る 需給ひっ迫は繰り返されるのか INTERVIEW
- 25 **火力電源の過剰退出に歯止め 発電と小売りのニーズをマッチング** 小川 要 資源エネルギー庁電力基盤整備課長
- 26 大改革につながることを期待 新設市場の創設は意義ある対策 松村敏弘 東京大学社会科学研究所教授

FOCUS NEWS HEADLINE

8 政治事情がエネ基議論に影響か 原発政策で与党内に温度差配電事業への新規参入を解禁 強靭化や再エネ拡大など狙う 貸付配管問題に行政のメス LP減少には歯止め掛からず 先行地域 100カ所で脱炭素「再エネ交付金」構想が進行 米国内で新型原発を建設へ ゲイツ氏「脱炭素へ必要」 石炭火力輸出にまた逆風 G7サミットで方針見直し 再エネと原発が共存共栄 ハイブリッドに関心高まる 米PJMの容量市場入札 政策変更の影響で大幅下落





オピニオン

- 27 **下郡けい** 日本エネルギー経済研究所 戦略研究ユニット主任研究員 ENERGY FORUM REPORT
- 28 全電源 vs 火力の神学論争再燃 省エネ法改正論が引き金に 調査報道
- 30 太陽光被害のまん延防止ならず FIT機能不全ぶりの実態
- 32 都市ガスは座礁資産化するか 炭素実質ゼロで迫られる決断
- 36 政治決着の温室ガス46%削減 安定供給とコストにも配慮を 産経新聞 | 井伊重之 業界紙の目
- 38 脱炭素へエンジ産業の「覚悟」ピンチをチャンスにできるか エンジニアリング・ジャーナル社 | 宗 敦司



CONTENTS

特集2

バイオマス発電の底力 43

脱炭素を支える分散ベース電源

バイオマス業界の変化 重要視される「持続可能性」 44

INTERVIEW

- 46 地産地消支える国産調達 技術開発と熱利用が不可欠に 久保山 裕史 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域領域長
- 資源の循環型を目指す 燃料として無駄なく活用 48 広島ガス/日鉄エンジニアリング

INTERVIEW

ガス体エネルギー事業者に聞く 再エネ「分散型」の展望 51 エア・ウォーター/静岡ガス

FIT制度で事業環境が急変 燃料の国内供給を裏で支える 54 岩谷産業

THE VISION

清水希茂 中国電力社長 71 成長領域での利益拡大へ エネルギービジネスの新たな可能性を追求する

FORUM EYE

- 76 東京電力エナジーパートナー/GMOペイメントゲートウェイ/NEC 振込用紙のない新たな決済サービス
- 80 東北電力 地域資源を生かし再エネの導入を拡大
- 81 中部電力パワーグリッド ICT・IoTで新しい働き方を
- 82 東北ハウス実行委員会 東京・秋葉原で「東北ハウス」開催
- 「連載] **ヒートポンプ蓄熱の新潮流** ヒートポンプ蓄熱で省エネ推進 84

REGULER

- イニシャルニュース 40
- 42 おやおやマスコミ 井川陽次郎
- 55 ワールドワイド
- 業界スクランブル 58
- エネルギービジネスのリーダー達 64
- 私の経営論|川村憲一 66
- 羅針盤 塩沢文朗 68
- 70 リレーコラム 中山寿美枝

- 95 多事争論 住宅・建築物への太陽光義務化
- 98 政界官界 | 江島 潔 経済産業副大臣兼内閣府副大臣 参議院議員
- 100 福島廃炉への提言 石川迪夫
- 102 メディア報道放談 電力需給を巡る論説
- 104 ブックス 著者に聞く|私の愛読書|新刊紹介
- 106 インフォメーション
- 109 バックナンバー
- 110 編集後記

言行録 -

「昭和時代は国策民営で原発を推進した。令和時代、エネルギーの国策は何かといえば再エネだ」 小泉進次郎 (環境大臣) | 閣議後会見で「再エネ立地交付金」について(6月11日)